

経営比較分析表（平成28年度決算）

岡山県瀬戸内市 瀬戸内市立瀬戸内市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	ド訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
37,975	7,803	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

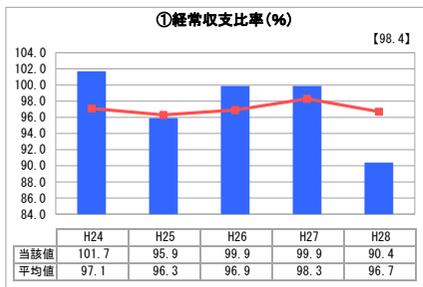
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
110	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	110
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
110	-	110

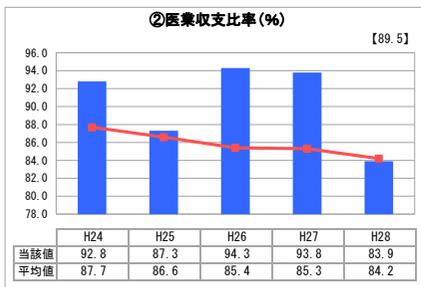
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

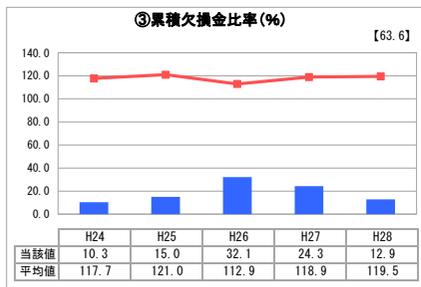
1. 経営の健全性・効率性



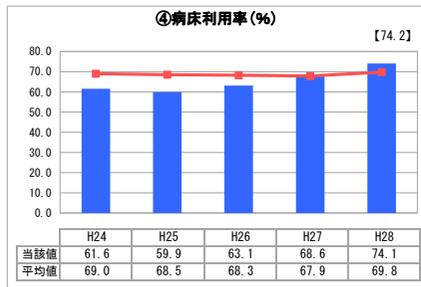
「経常損益」



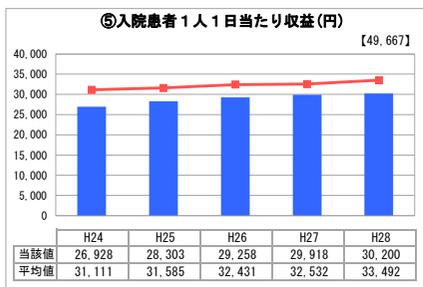
「医業損益」



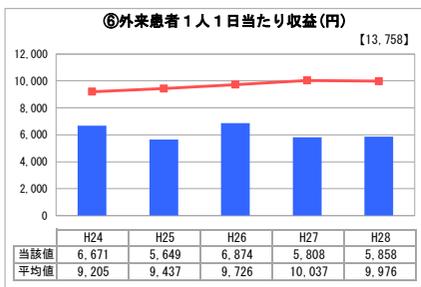
「累積欠損」



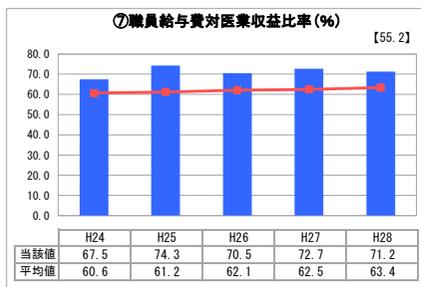
「施設の効率性」



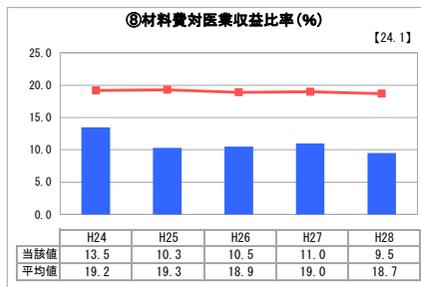
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

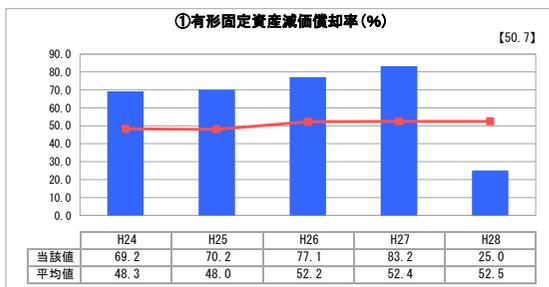


「費用の効率性①」

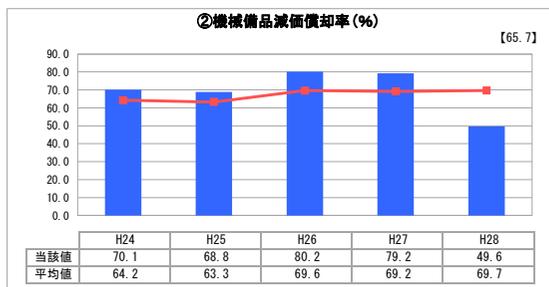


「費用の効率性②」

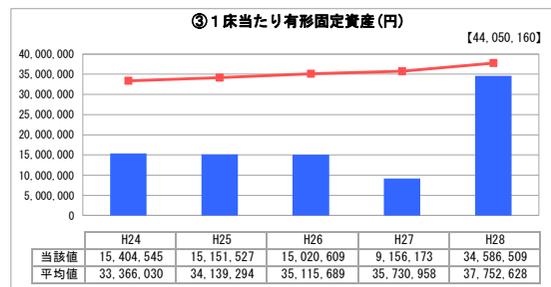
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

救急、小児などの不採算部門に関わる医療の提供。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度は、10月からの新病院開設による減価償却費の増額や運営に必要なスタッフ（看護師）の採用により費用が増加したため、経常収支率及び医業収支率が悪化しています。10月からの新病院運営により、病床利用率が上昇しています。

2. 老朽化の状況について

平成28年10月より新築した病院で運営を行っています。

全体総括

平成28年10月から新病院での運営を始めています。年度途中からの運営であり、運営開始までに病院スタッフ（看護師等）を増員することで給与が増加、また、新病院の建設による減価償却費の増加により、平成27年度より大幅に経常収支が悪化しています。ただし、新病院建築により、老朽化の心配はありません。新病院での病院運営以降、病床利用率が旧病院より大幅に上昇しており、今後の収入増が期待できます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。